

## 《情報公開文書》

# 加温加湿器 F&P950 を用いた回路内の 結露に関する観察 ～単施設観察研究～

## 研究の概要

### 【背景】

F&P950 はヒーターや湿度・温度センサーを一体化した加温回路を備え、外付けプローブが不要であるため、セットアップが簡単でトラブルも減少します。自動モードにより適切な加温・加湿が自動制御され結露を抑えて呼吸抵抗や水滴流入のリスクを低減でき、従来機の MR850 で見られた加湿不足や水分貯留も改善が期待されます。現在は主に NICU で新生児に使用しているが、将来的には成人患者への導入拡大が見込まれているため、MR850 よりも F&P950 の方が加湿性能において優れているという点や回路内の水分貯留が少なく水分の除去作業の低減などを明確にするため観察を行いたいと考えております。

### 【目的】

MR850 よりも F&P950 の方が加湿性能において優れているという点や回路内の水分貯留が少なく水分の除去作業の低減などに繋がるかを明らかにしたいです。

### 【意義】

後継機の加温加湿器 F&P950<sup>®</sup>の使用により上記に示すような結露を抑え、効率的な加湿を行うことで医療従事者の負担軽減に寄与するのではないかと考えております。

### 【方法】

F&P950 使用患者を観察し加湿不足、回路内の水分貯留が軽減されているかどうかデータを収集し、従来機である MR850 を使用していた患者データとの比較検討を行いたいと考えております。

## 対象となる患者さん

- ① 高度救命救急センターに入院となり、2025年8月1日～2025年10月末日の期間において MR850 もしくは F&P950 を使用し 24 時間以上の人工呼吸器管理を行った患者さん
- ② 18 歳以上
- ③ 人工呼吸器 (Servo-u) を使用している患者さん

## 研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- 性別
- 人工呼吸器の換気設定
- 加温加湿器の種類
- 加温加湿器の設定
- 人工呼吸器管理中に吸引カテテルを用いて吸引を行った回数
- 人工呼吸器管理中に人工呼吸器回路内にたまった結露の排水作業を行った回数
- 人工呼吸器管理中に気管支鏡検査を行った回数
- 気管支鏡を行った際に喀痰を採取した場合、痰の性状

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

**情報の利用開始予定日**

本研究は 2026 年 2 月 19 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

**研究実施期間**

研究機関長の許可日～2026 年 3 月 31 日

**研究実施体制**

研究責任者	所属：長崎大学病院 ME 機器センター 氏名：島田 航輔 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095 (819) 7863
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長

**問い合わせ先**

**【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】**

長崎大学病院 ME 機器センター 島田 航輔

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

電話：095 (819) 7 8 6 3 FAX 095 (819) 7 4 8 4

**【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）**

苦情相談窓口：医療相談室 095 (819) 7200

受付時間 : 月～金 8:30～17:00 (祝・祭日を除く)